

授業科目 福祉用具III

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
河 合 俊 宏		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 言語機能障害、聴覚障害、知覚障害などに起因するコミュニケーション障害は、コミュニケーション機器等を用いてコミュニケーション能力を補償または拡大することができる。授業では代表的機器である意思伝達装置、会話補助装置、環境制御装置について習得し、合わせて関連する技術についても理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. リハビリテーション工学の概観と其中的コミュニケーション機器・環境制御装置について説明できる。 2. 文字・座標等の選択方式について説明できる。 3. コミュニケーション機器と環境制御装置の実例について習得する。 4. 臨床応用例、機器と人間、環境との適合について説明できる。 5. 今後の研究開発課題について分析できる。 6. 車いす、姿勢保持とコミュニケーション機器との関係について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	リハ工学の概観			1	講義
2	リハ工学における、特にコミュニケーション機器と環境制御装置			1	講義
3	文字・座標等の選択方式			1	講義
4	コミュニケーション機器と環境制御装置の実例			1	講義
5	車いす、姿勢保持とコミュニケーション機器との関係			1	講義
6	臨床応用例：機器と人間、環境との適合			1	講義
7	コミュニケーション機器と環境制御装置（演習）			1, 2	演習
8	〃			1, 2	〃
9	〃			1, 2	〃
10	〃			1, 2	〃
11	〃			1, 2	〃
12	〃			1, 2	〃
13	〃			1, 2	〃
14	今後の研究開発課題			1, 2	講義
15	まとめ（到達度評価）			1, 2	質疑応答
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		エンジニアのための人間工学	横溝・小松原	日本出版	サービス
その他の資料					
【評価方法】 筆記試験、演習への積極度			【履修上の留意点】		